

韓国：消費者への情報提供、パッケージ表示の改善

Smart Food QR

概要

- ▶ 韓国の政府機関 Ministry of Food and Drug Safety (MFDS, 'K-FDA') は、2022年9月に「Smart Food QR」の実証実験を開始した。
- ▶ 目的は商品パッケージ上に必要な記載をより読みやすく、消費者からデジタルな商品情報によりアクセスしやすくすること。
- ▶ 2024年11月からはQRコード (GS1 Digital Link URI方式) を採用した。単なるURLではなく日付やロット/シリアル番号等をシンボルに書き込んで活用できるようになり、期限管理業務効率化が実現できるほか、トレーサビリティ確保、消費者へのより詳細な商品情報提供も可能に。



※上記画像出典：韓国MFDS報道資料

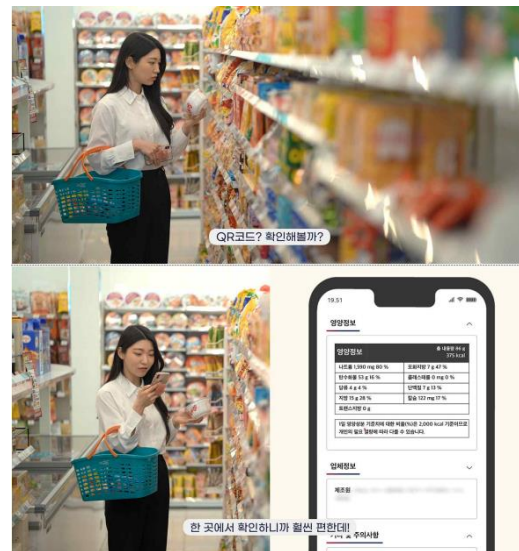
https://www.mfds.go.kr/brd/m_824/view.do?seq=45015&page=1

ポイント

- ▶ 従来パッケージ上に記載していた一部の情報をウェブ参照とすることで、原材料表示等の文字サイズを拡大できた。
- ▶ 2024年11月、新プラットフォームを活用した実証実験第2弾を始動。20社の100アイテムが対象となる。
- ▶ 実証実験第2弾の開始にあたって締結されたMOUにはSamsungやLG、ロッテ百貨店といった大手家電メーカー、小売り企業も名を連ねている。
- ▶ 家電メーカーとの連携で、消費者の家庭内での活用も。

※上記画像出典：https://www.mfds.go.kr/brd/m_99/view.do?seq=47096

Smart Food QR 消費者の活用イメージ



韓国

食品

- ☐ 調査中
- ☐ 導入済み
- ☒ **パイロット**

- ☒ **QRコード**
- ☐ GS1データマトリックス
- ☐ その他

- ☒ **オープンな環境**
- ☐ クローズな環境

